

広報でお悩みの
団体さん必見! NPOのための広報スキルアップセミナー
「伝えるコツ」を身につけよう

日時 2011年11月26日(土) 11:00~18:00
(10:30~受付)

場所 松阪市市民活動センター (松阪市日野町 788 カリヨンプラザ 3F)

※前号の情報紙アロマNo.36でお知らせした開催場所から変更となりました。ご注意ください。

講師 田尻 佳史(たじり よしふみ)氏 (日本NPOセンター常務理事・事務局長)

定員 30名 ※定員になり次第受付を終了します。お早めにお申込みください。

対象 市民活動団体、NPOなどで活動している方、
企業の広報、CSR担当者など、また広報に関心のある方

参加費 一般:2,000円 登録団体・会員:1,500円
※実費を除き、参加費の一部を被災地の復興支援としてNPO団体に寄付します。

お申込み方法 お申込みは当センターに設置のチラシ裏面の「参加申込書」に必要事項
を記入の上 FAX でお送りいただくか、同様の内容をメールにてご送信
してください。

お申込み・お問い合わせ

FAX 0598-25-3803 E-MAIL info@m-bridge.jp TEL 0598-23-8400

〈協 力〉 NPO 広報力向上委員会、日本NPOセンター、電通

〈主 催〉 松阪市市民活動センター：指定管理者 特定非営利活動法人Mブリッジ 〈共 催〉 松阪商工会議所、松阪市社会福祉協議会

このセミナーは広告代理店最大手の“電通”と“NPO広報力向上委員会(※)”が協働で全国的に展開している広報セミナーです。電通のノウハウの詰まったオリジナル冊子を使い、これまで7年間にわたり全国で実施しています。このセミナーは松阪では初開催となります!

(※)NPO 広報力向上委員会とは… NPO の広報力が向上することにより、日本のNPOの活動が、活発になることを願って立ち上げられた会です。広告代理店の電通と、社会の課題に取り組むNPOのメンバーによって構成されています。



～プログラム～

11:00~16:50
「伝えるコツをやってみよう」
17:00~18:00
「NPOの広報物から学ぼう」

※タイムテーブルは変更になることがあります。
お昼休憩は13時頃を予定しています。

サステナビリティ【CSR検定】開催決定!

企業の社会貢献活動や環境への取組みなどで良く知られるCSRは、一般的に「企業の社会的責任」と訳されます。これは、企業が利益を追求するだけでなく、社会に対して、責任ある行動や社会貢献活動を行う上での概念です。CSRは今後、大企業だけでなく、中小企業や個人商店など規模の大小、またその地域を問わず、誰もが関わるべき取組みとなりつつあります。この検定はCSRの普及、定着を目的に東京と大阪で3年前から開催されており、今回、3会場目として、ここ松阪で実施されることとなりました。

受け付けはすでに始まっていますので
お申込みはお早めに!

【試験日】12月10日(土)
13:30~90分間

【会 場】松阪市市民活動センター

申し込み方法など詳しくはホームページをご覧ください。
[NPO法人Mブリッジ CSR推進チーム]
ホームページ: <http://m-csr.jimdo.com/>
TEL: 0598-26-0508



センターからのお知らせ

◎センター休館のお知らせ ・氏郷まつり…11月3日(木・祝)
祭り当日は例年通り休館日となりますが、センターとしてブースを出店しますので、ぜひご来場ください。

ちょこつと編集後記……………
センター窓口で筆談用のホワイトボード
をご用意しました。ご利用の際はセンター
スタッフにお知らせくださいね。[M]

松阪発信! 市民活動の情報紙 アロマ 次号は2011年12月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい
情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」
などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。
次回の原稿締切は2011年11月30日(水)です。 担当/三上・澤

松阪市市民活動センター 〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜~土曜日/10:00~22:00
松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり(屋上) 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時間まで無料

TEL 0598-25-3801(予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

利用 会議室 大会議室…机10 椅子30 (600円) 機材等 印刷機(紙持込)/コピー機
小会議室1…机4 椅子12 (150円) マイク/プロジェクター 他
小会議室2…机6 椅子18 (200円) 会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。
料金は1時間。 小会議室3…机4 椅子12 (150円) 利用申込 申請書類は窓口でご記入いただくか
大小会議室の 組み合わせ可。 外会議室…机8 椅子24 (400円) お電話にて予約後、ご提出ください。

情報提供 ▼ 松阪市市民活動センターホームページ
<http://www.katsudou.com>
▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報)
<http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/>

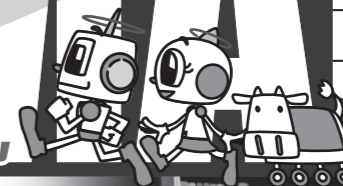


松阪発信! 市民活動の情報紙

発行 松阪市市民活動センター

AROMA
A Resident Of Matsusaka Activity

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F
開館 月曜~土曜日/10:00~22:00
(予約専用)
TEL 0598-25-3801
0598-26-0108
FAX 0598-25-3803
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp



~アロマ~ No.37



今号は… A BARRELS(ア・バレルズ)さんです

「自分たちが楽しくて、それが社会のためになったらもっと良い。酒の肴になる
ような楽しい市民活動をしよう」をモットーに活動しているユニークな団体
がある。今回はズバリ「酒樽」が団体名の由来となっている「A BARRELS(以
下ア・バレルズ)」にお話を伺った。設立は2009年。きっかけは「今、街
を盛り上げているのは中高年の方々。自分たち20代も何かできないか」
というリーダー勝田茂樹(かつたしげき)さんの呼びかけだった。こ
の呼びかけに、学生の頃から市民活動やボランティアに参加してい
た仲間達が賛同。「三重の魅力発見」をキーワードに、現在は15名
で活動を行っている。



リーダー: 勝田茂樹さん

活動のペースは月に2回。県内の自然・観光・歴史・文化など、毎回テーマを決めることから始まる。そして、
そのテーマに沿った企画を立案し、実際に体験する。こ
こまでならただの「遊び仲間」かもしれない。しかし、
勝田さんたちが市民活動団体として面白いのは、撮影や
編集、デザイン、文章などを得意とするメンバーがその
力を活かし、しっかりと地域の魅力を「情報」として発
信しているところだ。いきいきした文章が踊るブログや、
活動内容が伝わる動画も楽しげだ。もちろん県内で行わ
れるイベントやお祭りにも積極的に参加。チャリティー
募金や、ゴミ拾いなどのボランティア活動をはじめ、農
業体験、陶芸体験など、ア・バレルズのテーマに合えば、
人が出向きたくなるスポット情報になる。「三重の魅力
を広く伝えていくことが「自分たちの役割」と勝田さん。
今年8月には新たにホームページも立ち上げ、今まで以
上に情報発信に力を入れている。

リシェイク」を多くの来場者に楽しんでもらえたようだ。
また、この日の売上げの一部は、センター登録団体の「東
日本大震災復興支援の会三重」へ寄付された。ア・バレル
ズの魅力のひとつに、世代や分野を越えて交流できる柔
軟さと行動力がある。その魅力を活かし、今後も他団体
とのコラボレーションをどんどん実現させて欲しい。

ア・バレルズは現在、プロボノ(※)に関心がある10~30
代のメンバーを募集 중이다。「ただの遊び仲間ではなく、地
元の“未来を語り合える仲間”がほしい」と勝田さん。
自分の専門性を生かし社会と関わってみたい、三重県の魅
力を伝えたいと思う人は、ア・バレルズのホームページを
覗いてみてはいかがだろうか。今後、新たな仲
間が増えた時、ア・バ
レルズはどのような未
来を語り合い、描いてい
くのか? ア・バレルズ
の今後の活動に注目し
たい。



飯高町の特産品クレソンの栽培農家を訪ねて

勝田さんたちは、他の市民活動団体との交流や連携にも積極的だ。今年6月に当センターが開催した「登録団体
交流会」に参加した「ハピックス」と意気投合。8月に
開催された「七夕まつり・鈴の音市」ではア・
バレルズをハピックスが支援するかたちで出
店。三重県産の果物を使
った「ジャム入り手作



8月に続き、10月はハピックスと津まつりのゴミ拾い活動にも参加

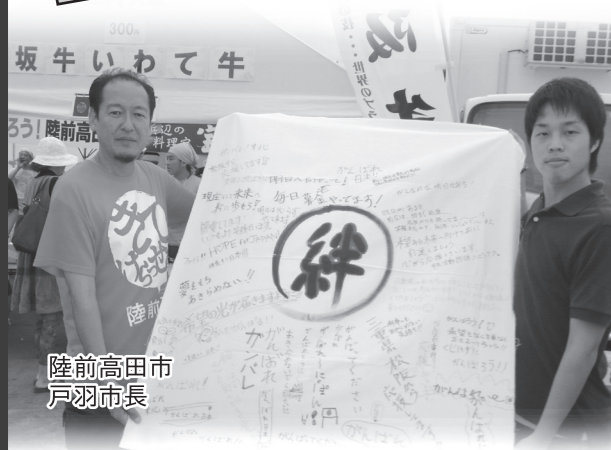
※プロボノとは…社会人としての仕事の中などで学んだ専門性を生かした
社会活動のこと(ア・バレルズHPより引用)

A BARRELS(ア・バレルズ)へのお問い合わせは…

URL: <http://a-barrels.jimdo.com/>

報告

東日本大震災の被災地を訪れて… 岩手県陸前高田市での復興イベントに参加してきました



陸前高田市 戸羽市長

当センターのスタッフ(三重中京大学ボランティア部部長)が8月27日(土)、28日(日)、陸前高田市復興街づくりイベント〜街おこし・夢おこし〜に参加してきました。

【以下は、現地を訪れたスタッフからの報告です】

参加したイベントは、岩手県陸前高田市の高田小学校の校庭で行なわれ、2日間で約18,000人の来場者があったようです。この時、陸前高田市の戸羽市長とお話する機会もあり、8月6日の鈴の音市で当センターが実施した「復興応援メッセージ」を手渡しすることができました。市長からは「温かいご支援ありがとうございます」とのお言葉も頂戴できました。

震災から5ヶ月が経過し瓦礫の撤去などは進んでいるものの、やはり現実を目の当たりにし、胸を締め付けられる思いでした。また、改めて長期にわたる支援活動の必要性を身にしみて感じました。この時の状況を写真に納め、センターラウンジの展示スペース「街の小さな〇〇(マルマル)空間」にて常設しております。震災直後の写真と対比してご覧いただけますので、被災地のことを忘れないためにも是非ご覧いただきたいと思ひます。

(展示スペースの利用がある場合は一時的に撤去しています。予めご了承ください)

この被災地視察を踏まえて…

街の小さな〇〇空間の様子



〔震災直後の写真提供〕 東日本大震災復興支援の会 三重 様

復興支援 募金型 氏郷まつり 出店 チャリティーバザー を実施します!



11月3日(木・祝)、今年で第50回となる「氏郷まつり」が松阪中心市街地で開催されます。当センターもこのお祭りに出店する予定で、今年で6回目となります。今年のセンターブースでは小規模ですが復興支援のための「募金型チャリティーバザー」を実施したいと考えています。このバザーでは金額表記をせず、復興支援のための募金1回につき、品物を1点お渡しします。現在、「このバザーに出品しても良いよ!」という方から、未使用不要品の受け付けを行っています。

下記の要件を満たす物品をお持ちで、このバザーの趣旨に賛同していただける方は、お問合せください。

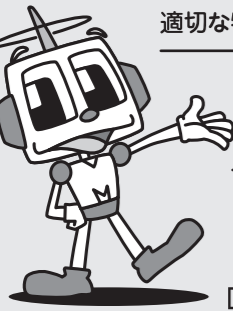
- ・原則として家庭内の「未使用不要品」に限ります。
- ・11月1日(火)までに当センターまでご持参いただけることを前提とします。
- ・スペースの都合によりタテ 450mm × ヨコ 450mm × 高さ 200mm 内に収まるサイズまでとします。
- ・参考書やCDなどリユース可能な物は美品であれば受け付けます。
- ・飲食物、危険物、生き物、公序良俗に反する物など、このバザーに不適切な物は受け付け出来ません。

【氏郷チャリティーバザー受付】

0598-26-0108 (担当: 澤)

バザーの売上げの全てを被災地支援のための義援金といたします。残った物品につきましては「復興支援ブログ」の中のチャリティーオークションに出品させていただきます。

【復興支援ブログ】 http://blog.goo.ne.jp/m-bridge_fukkou



お気持ち持ってきてね!



松阪市からのごあんない

～ 11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」の期間です～

平成23年度女性に対する暴力防止セミナー

【講演会】 ストップDV!
がまんしなくていい!
あなたは悪くない

～当事者が望む支援とは～



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

11月19日(土) 13:30～16:00
(開場時間13:00)

会場 松阪市産業振興センター (松阪市本町 2176)

講師 藤木 美奈子 さん NPO 法人 WANA 関西代表
龍谷大学准教授

*朗読劇「ひまわり～DVをのりこえて」 *三重県からのDVに関する報告

●定員 100名 ●申込み不要 ●参加費無料 ●要約筆記あり

●託児無料(0歳～小学生) 託児申込み締切 11月11日(金)

主催: 三重県・三重県男女共同参画センター「フレンデミア」 共催: 松阪市

セミナーのおしらせです

～ 男女共同参画社会の実現を目指し～

男女共同参画 さ・し・す・せ セミナー

11月2日(水) 19:00～20:30

会場: 松阪市産業振興センター
内容: 「男女ともに、素敵に人生を」
講師: 平岡令孝さん (㈲平岡健康開発研究所 所長)

11月4日(金) 19:00～20:30

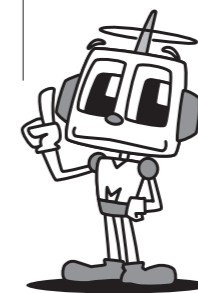
会場: 飯高総合開発センター
内容: 「男女共同参画とまちづくり」
講師: 松井真理子さん (四日市大学教授)

11月5日(土) 13:30～15:00

会場: ハートフルみくもスポーツ文化センター
内容: 「男女共同参画社会の実現に向けて」
講師: 鈴山雅子さん (三重大学男女共同参画コーディネーター客員教授)

11月26日(土) 14:00～15:30

会場: 嬉野保健センター
内容: 「楽しみながら目指そう! パパはイク男」
講師: 西村直人さん (NPO えほんうた・あそぶうた代表)



セミナーに関するお問い合わせ先は…
松阪市生活部男女共同参画室
TEL 0598-53-4339 FAX 0598-22-1055
E-MAIL danjyo.sec@city.matsusaka.mie.jp

全セミナー
入場無料です!



報告

いざというときに備えて! 松阪市市民活動センター 普通救命講習を開催しました



今年3月の東日本大震災、また、県内でも台風による大きな被害などもあり防災への意識は今まで以上に高まっています。当センターでは9月28日(水)、松阪地区広域消防組合消防本部をから3名の講師を招き、「普通救命講習」を実施しました。テキストを使った講義後、1チーム6～7名の3班に分かれ、実習を行ないました。参加者

の中には「心肺蘇生法」や「人工呼吸」など初めての方も多く、「こんなに体力がいるとは思わなかった」と息を切らす方も見えました。また2人1組で行った「AED(自動体外式除細動器)」を使った実習では、機械のあつかい方の他、声掛けなどのチームワークの大切さも学びました。「緊急時には勇気を出して処置をしてください。あなたの行動が人命を救うことにつながります」という講師の言葉が印象的でした。実際の救急現場では、通報から救急車が到着するまで約7分かるといいます。その間に、居合わせた人が救命処置を行うことで、人命が助かる確率は飛躍的に上がります。当センターでは、今後も災害などを意識しながら、こうした講習を継続していく考えです。



センターAEDは定期的に入れ替えています

身近なCSRを探して vol.9

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりをサポート

高齢化がすすむ現代で、認知症は大きな社会課題のひとつ。そんな中「認知症サポーター(※)」が増えつつあります。「三重信用金庫」は昨年より認知症サポーター制度を導入し、熱心に活動に取り組んでいます。きっかけは、認知症が疑われる方への対応に困ったという現場の声でした。例えばATMでの振り込みの際に、桁を1つ間違っただけで大きなトラブルになってしまうのを防いだり、振り込み詐欺防止対策などの観点からも症状を正しく理解した対応が必要だと実感。現在、松阪市第四地域包括支援センターと協力しながら、今年度中に理事長以下全役員が認知症サポーターの取得をめざしています。各支店単位での取得は例がありますが、全社員の取得をめざすのはとても珍しい例。「企業も、私たち職員一人ひとりも、地域の一員であるという意識のもとで取り組んでいます」と総合企画部の小泉敦男さんは語ってくれました。「信用金庫」は地元の中小企業や市民など、地域の会員が互いに支え合う金融機関。そんな背景からも「企業市民」としての意識が高く、このように地域に密着した取り組みにつながっているのかもしれない。

※: 認知症を正しく理解し、日常生活の中で認知症の人やその家族を支援するボランティアのこと。厚労省でも6年前から「認知症サポーター100万人キャラバン」に取り組み、今年の3月に250万人を突破

【お問い合わせ先】 TEL 0598-53-2222 URL <http://www.shinkin.co.jp/mie/>

三重信用金庫

【本店住所】松阪市朝日町1区16-6

認知症サポーター養成講座の様子